

# 中東情勢に関する庁内連絡会議

## 議 事 次 第

日 時 : 令和8年5月29日(金) 8:40~9:30

場 所 : 福井県庁7階 特別会議室

- 1 鷺頭副知事あいさつ
  
- 2 議 事
  - (1) 国における動向(事務局:未来戦略課)
  - (2) 県内の現状および対応状況(各部副部長)
  
- 3 今後の対応方針

### 【資料】

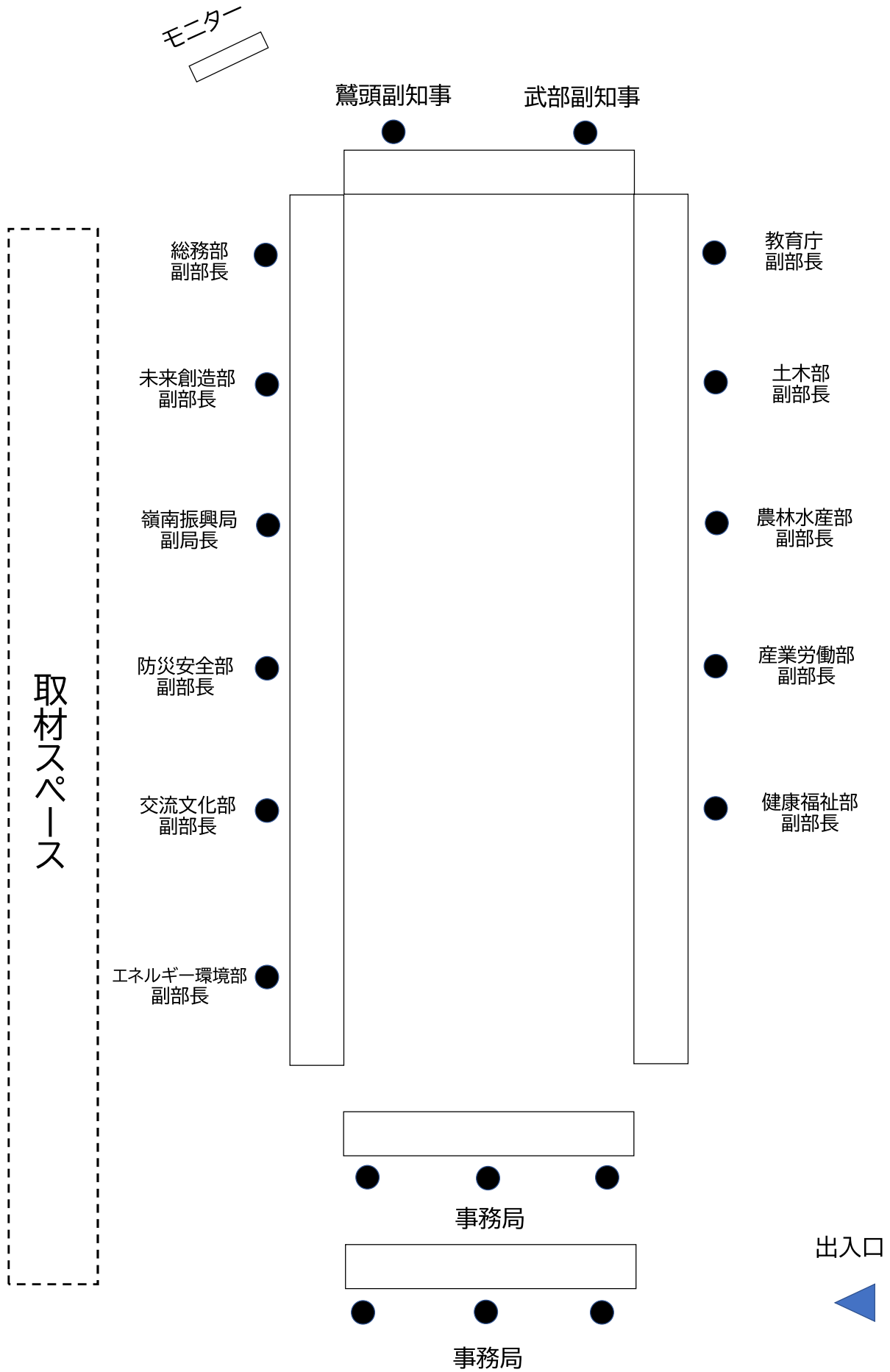
- 資料1 国における動向  
資料2 県内の現状および対応状況(各部局報告資料)

中東情勢に関する庁内連絡会議 参加者名簿

職	氏名
副知事	鷺頭 美央
副知事	武部 衛
総務部 副部長	内田 博幸
未来創造部 副部長	橋本 直之
嶺南振興局 副局長	北林 直樹
防災安全部 副部長	網本 敬徳
交流文化部 副部長	河瀬 康博
エネルギー環境部 副部長	三寺 庄司
健康福祉部 副部長	竹内 芳隆
産業労働部 副部長	長谷川慎司
農林水産部 副部長	西川 栄一
土木部 副部長	北川 善一
教育庁 副部長	岸本 鉄也

事務局：未来戦略課

# 中東情勢等に関する庁内連絡会議 配席図



# 中東情勢に関する庁内連絡会議

令和8年5月29日(金)

## ①国における動向

### 【5／25 高市総理 記者会見（概要）】

- 中東情勢を踏まえ、一般予備費に加え、3兆円規模の補正予算を編成し、国民生活や経済への影響を最小化するため対応を強化
  - ✓ 7～9月に電気・ガス料金支援を実施（標準家庭で3か月約5千円の負担軽減）
  - ✓ 重点支援地方交付金を拡充し、特別高圧電力・LPガスなど地域実情に応じた支援を強化
  - ✓ 新たに「中東情勢等対応予備費」を創設し、エネルギー価格高騰等に柔軟対応
- 原油について、6月の代替調達は約8割まで拡大見込み。来年春まで安定供給を確保できる見通し。
- ナフサについて、中東以外からの代替調達が従来の8割超まで回復。ナフサ由来の石油製品は、年を越えて供給継続が可能
- 一方、供給見通しの共有不足や実績以上の発注などにより、現場では物資不足が発生。目詰まりを解消し、オイル・ショック時のような市場の混乱を防止
  - ✓ これまでに、37の医療物資などの目詰まりを解消し、燃料油では346件の目詰まりを解消
  - ✓ 医療用手袋5千万枚の備蓄放出
- 中東情勢の影響を受ける中小企業・小規模事業者に対し、政策金融公庫による資金繰り支援の拡充等を行うとともに、取引Gメン等1,000人体制で中東情勢の影響を重点調査し、価格転嫁を徹底
- オイル・ショック以降、エネルギー需要が増大する夏と冬の前に毎年行ってきた省エネの呼び掛けを実施

## 【参考】各省庁の動向

国の「中東情勢に関する関係閣僚会議」の資料をもとに作成

担当省庁	品目	①国内の状況およびその対応状況	
		<国内の影響>	<国の対応状況>
経済産業省	原油	<ul style="list-style-type: none"> <li>6月の代替調達は、従前の7割以上の見通しから、8割程度まで引上げ。</li> <li>代替調達の更なる進展を踏まえると、保守的に6割の代替調達が継続する場合を想定しても、年度を越えて来春まで、石油の安定供給を確保できる見通し。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アメリカに加え、中南米、アジア太平洋、中央アジア、アフリカに原油調達先を拡大予定</li> <li>6月以降の国家備蓄放出については、今後の代替調達の状況を踏まえ、必要に応じ機動的に対応</li> </ul>
	潤滑油	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本全体の石油供給は足りているが、流通段階で目詰まりが発生</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>潤滑油製造事業者に対し、前年同月比同量の販売に向けた取組を要請</li> </ul>
	シンナー、塗料	<ul style="list-style-type: none"> <li>前年実績並もしくは前年実績以上の供給を維持できるも、流通の目詰まりが発生</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>商社やシンナーメーカーに対し川上企業が供給を継続することを伝達し、また、塗装事業者に対し通常通りの頻度・量での発注を要請することで目詰まり解消に取り組む</li> </ul>
	ナフサ	<ul style="list-style-type: none"> <li>中東以外からの代替調達が進み、従来の8割超まで回復</li> <li>ナフサ由来の石油製品は、年を越えて供給継続が可能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>供給が「年を越えて」継続できることの理解を広め、前年同月同量を基本とした調達を行って頂くよう徹底的な周知・広報</li> </ul>
厚生労働省	医療用手袋	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在、通常通りの発注には概ね対応できている一方、一部では通常量を大幅に超える発注も見られ、結果として歯科診療所など一部の医療機関等では確保が困難に</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>確保が困難となっている医療機関等向けに、まずは5000万枚を放出することとし、5月18日より要請受付を開始（第1弾）</li> </ul>
	透析チューブなどの医療器具等	<ul style="list-style-type: none"> <li>透析資材や血液浄化剤などの流通目詰まりが発生</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療機関からの相談や窓口への情報提供等により得た、医療器具等の流通目詰まりに対し、供給元企業への優先供給の働き掛けや代替品の確保、増産要請等により、順次供給を確保</li> </ul>

担当省庁	品目	①国内の状況およびその対応状況	
		<国内の影響>	<国の対応状況>
国土交通省	建設・住宅資材	<ul style="list-style-type: none"> <li>現時点でマンションや戸建住宅の引き渡し遅延等の具体的な影響は発生していない</li> <li>一方で、資材供給は全体として確保されているものの、流通過程（川中～川下）で供給の偏り・目詰まりが発生</li> <li>特に中小工務店や一人親方など調達力の弱い事業者において、資材確保が困難となる傾向</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係省庁・業界団体と連携し、建設・住宅資材の情報収集・共有を強化</li> <li>供給の偏り・目詰まりの解消に向け、プッシュ型で実態把握し対策を実施</li> <li>メーカー等からの供給見通し情報の発信や、過度な買いだめ抑制・計画的発注の働きかけ</li> </ul>
	エンジンオイル等	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動車整備業、バス事業、トラック事業等において供給の偏りと流通の目詰まりが発生</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地方運輸局が中心となり供給状況把握・目詰まり解消を推進</li> </ul>
農林水産省	食品容器包装	<ul style="list-style-type: none"> <li>現時点で供給見通しあり（概ね前年並み）</li> <li>ただし、供給不安への予防的対応として、パッケージデザイン変更の動きあり</li> <li>サプライチェーンの川上では供給が確保されていても、川中～川下で流通の目詰まりが発生するケースあり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>経産省と連携し、農林水産・食品分野の資材について実態把握と目詰まり解消を実施</li> <li>食品容器包装等について、業界団体との情報交換会を新設し情報収集・発信を強化</li> <li>地方農政局と地方経産局が連携し、パン・菓子等の中小事業者の資材供給実態を調査</li> </ul>
	農業資材	<ul style="list-style-type: none"> <li>流通事業者や農業者から将来の調達に不安の声</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>製造・流通事業者へ安定供給の要請を実施</li> <li>畜産・林業資材など対象を拡大し、将来的な供給不安にも対応</li> </ul>
環境省	ごみ袋	<ul style="list-style-type: none"> <li>現時点で例年通りの供給量を確保しており、当面は継続的に供給が可能な見込み。</li> <li>消費者の購入増等により、指定ごみ袋を採用する自治体によっては、途中で品薄になっているところも</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一部の自治体では、消費者の混乱を回避すべく、時限的に指定ごみ袋以外の使用を認めている。</li> </ul>

担当部局	業種	②県内の状況およびその対応状況	
総務部	大学・ 私立高校・ 専修学校	＜県内への影響＞	＜県の対応状況＞
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>プロパンガスや重油の価格が高騰</b>している</li> <li>・ 電気料金については、現時点で影響はないが、今後、電気料金が高騰すれば影響が生じる可能性がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国・事業者等の動向を注視しつつ、各学校との情報共有を図る</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実習、実験等に必要な物品や教材（特に衛生用品、農業資材等）が不足もしくは納期が遅れたり、価格が上昇している</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施設改修のための<b>建築資材の価格が上昇</b>しており、工事等に影響が生じる可能性がある</li> </ul>		
	県庁舎	<p>【県庁舎】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 空調用の灯油を入札で調達する予定だが、業者からは<b>灯油の価格が去年よりも高騰</b>していると聞いている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後、価格の高騰については、燃料費や光熱水費等の動向を注視</li> </ul>
	県庁舎・ 指定管理施設	<p>【指定管理施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>重油・灯油を中心とした燃料価格の高騰と調達不安</b>があり、一部施設において今後の運営に支障が生じる可能性がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後、価格の高騰については、燃料費や光熱水費等の動向を注視</li> </ul>
		<p>【指定管理施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>清掃用品や修繕資材、印刷資材なども価格上昇・入手困難</b>となっており、維持管理コストの増加や修繕対応の遅れが懸念</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 燃料や石油由来の化学品・製品等の安定的確保については、今後必要に応じて県が設置している総合相談窓口を紹介</li> </ul>
各市町	<p>(市町の対応状況等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定例の庁内会議で、関係団体からの意見報告や、公共施設の運営上の課題を共有（連絡会議を設け、対応を協議している自治体はなし）</li> <li>・ 5月16日、福井県市長会・町村会が林総務大臣に物価高騰への対応についての要望書を提出</li> <li>・ 知事と市町長との政策ディスカッション（5/18、5/26）では、市町が得た情報も県の連絡会議で共有することや、資金面の支援や目詰まり解消の国への働き掛けについて要請あり</li> </ul>		

担当部局	業種	②県内の状況およびその対応状況	
未来創造部		＜県内への影響＞	＜県の対応状況＞
	鉄道	<ul style="list-style-type: none"> <li>電気料金については、現時点で影響はないが、今後、電気料金が高騰すれば影響が生じる可能性あり</li> </ul>	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>線路保守工事に必要となる<b>石油製品、プラスチック製品、車両塗装用のシンナー等が不足もしくは長納期</b>となっており、価格も上がっている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国・事業者等の動向を注視</li> </ul>
	交通事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>現時点で燃料は調達できているが、<b>エンジンオイルや尿素水（アドブルー）の入手が難しく</b>なっており、先が見通せない状況</li> </ul>	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>中東情勢の収束が見通せない中、<b>燃料価格は昨年度と同水準で高止まり</b>しており、自動車輸送業界に不安・不満感が高まっている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国・事業者等の動向を注視</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>燃料費の高騰等については、引き続き物流・公共交通を担う自動車輸送業界への支援を求める意見あり</li> </ul>	
	情報通信業界	<ul style="list-style-type: none"> <li>中東情勢により<b>半導体材料の供給が不安定</b>になり、従来からの半導体不足に拍車をかける状況になっている。</li> <li>半導体を使用した製品（PC端末やサーバ等）の確保が難しくなっており、従来の価格や納期での対応が難しい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国・事業者等の動向を注視</li> <li>価格高騰の影響を最小限に抑えるため、早期発注に努める</li> </ul>
	ブライダル業界（ウェディングドレス）	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>ドレス資材について、価格の高騰や納期未定等の影響が出始め</b>ている</li> <li>ハンガー、段ボール、ビニールケース、下げ札等の<b>備品価格が高騰</b>している</li> <li>供給制限もあり、<b>発注しても入荷してこない</b>、もしくは遅延がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国・事業者等の動向を注視</li> </ul>

担当部局	業種	②県内の状況およびその対応状況	
		<県内への影響>	<県の対応状況>
防災安全部	消防	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防車両用や救急車両用のガソリン、軽油については、現時点で滞ることなく調達できているが、今後の価格高騰が懸念</li> <li>・防災ヘリ用のジェット燃料についても、現時点で滞ることなく調達できているが、今後の価格高騰が懸念</li> <li>・<b>シルバー塗装が必要な消防隊用のヘルメットで一部納期遅れ</b>がみられたが、その他資機材の調達に大きな影響は出ていない</li> <li>・救急隊用のビニール手袋や酸素マスクについては、現在は確保できているが、今後、購入数量が制限される懸念</li> <li>・<b>防災ヘリ用の油脂類（エンジンオイル、グリース、部品洗浄用ナフサなど）や機体補修用の塗料について、今後の価格高騰や購入数量が制限される懸念</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国（消防庁）による全国の消防機関等への聞取状況・対策を注視</li> <li>・県内消防機関等の動向を把握</li> </ul>
	災害用備蓄物資	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害用備蓄物資（段ボールベッド、ペットボトル飲料など）の調達に大きな支障は出ていないため、今年度の購入には影響なし</li> <li>・<b>ビニール製品（簡易トイレ等）については、今後購入数量が制限される懸念</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国の対策など動向を注視</li> <li>・災害用備蓄物資の調達への影響について、納入業者から状況を聞き取り、製造業者の動向を注視</li> </ul>
	消費者全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近年の福井市の消費者物価指数（生鮮食品を除く）は上昇基調であるが、中東情勢悪化による大きな変化は見られない （R8.3月前年同月比+1.2%）</li> <li>・生活関連物資価格の調査（県内8社：スーパー等）においても、中東情勢に伴う大きな価格上昇は見られない</li> <li>・原材料や流通コストが上昇しており、<b>今後、原油価格の高騰が継続した場合、食品・日用品価格が上昇する懸念</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活関連物資価格の動向を継続的に調査・把握</li> <li>・消費生活相談において、価格高騰や悪質商法に関する相談動向を注視</li> </ul>

担当部局	業種	②県内の状況およびその対応状況	
		<県内への影響>	<県の対応状況>
交流 文化部	宿泊	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重油の供給見通しの不安から、温浴設備の稼働を制限する事業者も見られるが、現時点で宿泊事業者から支援を求める要望等はない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き現状把握に努めながら、今後の状況を注視していく</li> </ul>
	交通事業者 (観光)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現時点で交通事業者等（貸切バス、遊覧船等）から特に支援を求める要望等はない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き現状把握に努めながら、今後の状況を注視していく</li> </ul>
	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・欧州から中東を経由する便の縮小や、燃料価格の高騰などの影響により、<b>訪日旅行全体として、欧州からのインバウンド減少が懸念</b>（4月の訪日客数は前年同月比5.5%マイナス）。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き現状把握に努めながら、今後の状況を注視していく</li> </ul>

担当部局	業種	②県内の状況およびその対応状況	
		<県内への影響>	<県の対応状況>
エネルギー 環境部	指定ごみ袋	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般廃棄物の指定ごみ袋について、供給は例年どおり確保されており、直ちに不足する状況ではない（全市町および一部事務組合確認）</li> <li>・中東情勢の影響による不安から、<b>一部の販売店で品切れや品薄状態が発生</b>したため、越前市・南越前町・池田町では、臨時的対応として、指定ごみ袋以外のごみ袋の使用を許可（～6/30）</li> <li>・あわら市、越前市、南越前町、南越清掃組合のHPやSNSにより買いためを控えるよう呼びかけ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国・市町等の動向を注視</li> </ul>
	ごみ収集・処理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般廃棄物のごみ収集や処理業務について、燃料供給等の影響で、直ちに支障が出るという状況ではないことを全市町および一部事務組合に確認済</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国・市町等の動向を注視</li> </ul>
	産業廃棄物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産業廃棄物の収集・運搬業や処分業については、国が燃料価格の引下げ措置を継続しているため、現時点では特に影響がないことを福井県産業資源循環協会に確認済</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後の動向を注視</li> </ul>

担当部局	業種	②県内の状況およびその対応状況	
		<県内への影響>	<県の対応状況>
健康 福祉部	医療	【県立病院】	【県立病院 対応】
		(重油) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>空調・給湯・滅菌に使用している重油の供給が不安定</b>な状況</li> <li>・ 県内の石油納入業者が、元売りからの重油供給を保証できない状況にあるため、令和8年度上半期調達において、WTO特定調達入札で公告を行ったところ、入札参加者全員が辞退（再入札を実施したが参加者なし）</li> </ul> (石油関連商品) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>医療廃棄物回収用のプラスチック容器やポリ袋、コピー用トナー、ベッドシーツ等の寝具や病衣について、契約業者から値上げの申し出</b>あり</li> </ul>	(重油) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 上半期（9月）までは、石油商業協同組合との随意契約を締結し、当面の必要量を確保</li> <li>・ 重油の使用量削減のため、空調の温度を固定、自動起動の取り止め等の取組みを実施</li> </ul> (石油関連商品) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 変更契約（6月から）により、必要量を確保</li> </ul>
		【すこやかシルバー病院】	【すこやかシルバー病院 対応】
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>シーツ・衣類等の洗濯を依頼している業者から、重油の調達が困難のため、対応が難しくなるかもしれない</b>との連絡あり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現時点では、シーツ洗濯のペースを通常運用（週に1回）で行っており、衣類も業者に依頼できている</li> </ul>
		【民間病院】	(医療用手袋)
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>医療資機材（ニトリル手袋など）、給湯用灯油、ベッドシーツ等のリネン類などが値上げ</b></li> <li>・ 物資供給については、一部に納期遅延や供給制限が見られるものの、完全に供給が停止している事例はない。また代替品の活用等により、現時点で診療が継続できなくなるほどの影響は生じていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国が備蓄手袋放出を決定（有料）               <ul style="list-style-type: none"> <li>5/18～ 県が希望調査し、国に報告</li> <li>対象：病院・診療所等計828か所</li> <li>※5/22現在 4医療機関が希望</li> </ul> </li> <li>5/23～国が順次配送</li> </ul>

担当部局	業種	②県内の状況およびその対応状況	
健康 福祉部	生活衛生	＜県内への影響＞	＜県の対応状況＞
		【クリーニング】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 随時、県クリーニング業生活衛生同業組合から、状況を聞き取り</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>クリーニング業者は、全国的に、常時大量に使用する燃料や石油系溶剤等の高騰に伴いコスト削減等が必要</b>となっている 今後の状況次第で価格転嫁に踏み切る業者も増えると想定</li> <li>・ <b>組合員からは、国が支援をしてほしいとの声</b>がある クリーニング業の全国中央会が、毎週、組合の状況を厚生労働省に報告している</li> </ul>	
		<p>(石油系溶剤)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>業界の98%が使用しており、一番影響が大きい</b></li> <li>・ 以前に比べ、リッター当たり100円以上値上がりしている(220円→340円)。6月以降、さらに値上げ予定との連絡あり</li> </ul>	
		<p>(包装・ハンガー)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>価格が継続的に上昇。包装材は出荷制限</b>があり、卸から「店舗ごとの過去の実績程度の量しか卸すことができない」と言われている</li> </ul>	
		【公衆浴場】	<p>【公衆浴場 対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国担当者に対し、県組合からの要望があることを伝え、支援策検討を依頼</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>燃料となる重油が入ってこない</b>ため、営業時間を短縮した浴場や営業を休止した浴場がある</li> </ul>	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5月8日、県公衆浴場業生活衛生同業組合が、①燃料費高騰に対する財政支援、②省エネ設備導入の補助制度拡充、③公衆浴場の防災拠点化支援、④公衆浴場支援政策の抜本的強化について、県に要望</li> </ul>	

担当部局	業種	②県内の状況およびその対応状況	
健康 福祉部	介護施設	＜県内への影響＞	＜県の対応状況＞
		【介護施設】	（医療用手袋） ・国が備蓄手袋放出を決定（有料）（対象：訪問看護ステーション） ・随時、関係団体から、状況を聞き取り
		・ <b>原油価格上昇と供給不安により、施設運営にマイナス影響</b> が発生 （例：燃料費等の増加、介護関連物資の値上げ・調達難など）	
		・手袋の今後の調達に懸念あり。すでに値上げの連絡あり	
・おむつも手に入りづらくなっている			

担当部局	業種	②県内の状況およびその対応状況	
産業 労働部	経済団体 全般	＜県内への影響＞	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・燃料油や石油由来の原材料等の価格高騰や入手難、中東方面や中東を經由する輸出の停滞</li> </ul>	＜県の対応状況＞
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月下旬に実施した福井商工会議所のアンケート調査では、約9割の企業がマイナスの影響があると回答。特に製造業、建設業でマイナスの影響が大きい</li> </ul>	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・影響の内容として、「原材料、資材等の調達コスト上昇」と答えた企業が7割超、ナフサを原料とするシンナーや塗料、包装資材や断熱材などの建材関連品、原油に由来する重油や潤滑油、切削油などの調達が困難</li> </ul>	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の情勢が継続した場合、半数近くの企業は、年内に事業継続に支障が出ると回答</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中東情勢の不透明感で、一時金交渉において季別化や減額示唆など影響が出てきており、賃上げ効果の相殺や年間所得低下による経済への悪影響が懸念されている（連合福井）</li> </ul>		
	繊維	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボイラーの燃料となるA重油が入手困難となっている。LPGガスは3月に比べ、4月は40%上昇している</li> </ul>	同上
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・原糸、包装資材、潤滑油、電力、運賃など、広範なコスト上昇が見込まれ、価格転嫁の困難さが大きな課題となっている</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ナフサ由来の梱包材等で供給制限がでており、6月以降の原材料や梱包材の仕入れが不透明である</li> </ul>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・産地の一部企業が生産中止になることで、サプライチェーンが寸断され、現状影響が出ていない企業にも影響が及ぶ可能性あり</li> </ul>			

担当部局	業種	②県内の状況およびその対応状況		
		<県内への影響>	<県の対応状況>	
産業 労働部	眼鏡	<ul style="list-style-type: none"> <li>原料である樹脂ペレットやシンナーなどの出荷制限・停止により、サプライチェーン全体が停止するリスクがある。今後、一時休業や生産調整に入る可能性も想定される</li> </ul>	同上	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>器具等の洗浄に使用する「アセトン」、油類の希釈に使用する「ベンジン」が入手困難。入荷状況は例年の約半分で価格も最大80%上昇する見込み</li> </ul>		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>6月以降に備品の値上げや納入遅延などが予告されている。今後の発注に関して都度見積りを取るよう要請を受けている</li> </ul>		
	機械	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎資材（塗料やシンナー、潤滑油、切削油等）の価格が上昇しており、卸業者からは今後さらなる値上げや納期の不透明さが示唆されている</li> </ul>		同上
		<ul style="list-style-type: none"> <li>潤滑油の生産調整（出荷停止）により入荷数量が減少している シンナー不足による塗装業者からの納期延長や価格が上昇している</li> </ul>		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>切削相手となる鋳物を作る業界が重油不足と聞いており、今後の生産への影響を懸念している</li> </ul>		

担当部局	業種	②県内の状況およびその対応状況	
		<県内への影響>	<県の対応状況>
産業 労働部	プラスチック	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工場稼働に必要な重油や、検査・仕上げ工程で使用するアルコール系薬品等の副資材について調達が難しくなっている</li> <li>・原材料（ペレット用原料）は現時点で入手不能ではないが、購入先の代理店から購入数量の制限を受けおり、発注が困難となっている</li> <li>・原材料価格は上昇傾向にあり、今後の見通しが立たない状況である。現時点では値上げは行わず、今後の価格動向を注視している</li> <li>・燃料用途が優先される中で、ナフサの生産・供給が後回しになることへの懸念がある</li> </ul>	同上
	食品	<ul style="list-style-type: none"> <li>・燃料であるA重油の調達が困難となっており、在庫がなくなれば生産できなくなるおそれがある。灯油などへの切替えも検討している</li> <li>・プラスチックカップ、フィルムなどの洋菓子販売に不可欠な包装資材の供給に制限がかかっており、納入価格も上昇している</li> <li>・洋菓子店の売上の大部分はテイクアウトが占めており、包装資材がなくなれば、営業自体が成り立たなくなる</li> <li>・包装不要なイトイン切り替えたいが、深刻な人手不足のため対応できない</li> </ul>	同上

担当部局	業種	②県内の状況およびその対応状況	
産業 労働部	石油販売	＜県内への影響＞	＜県の対応状況＞
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・重油不足のため、元売り業者が商社経由ルートへの供給を減らし、小売業者経由のルートを優先しているとの情報がある</li> </ul>	同上
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般的に小売業者としては、付き合いが長く、今後も継続的に取引がある優良な取引先に対し優先的に販売することになる</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>重油やガソリンの在庫が危機的な状況になれば、病院や緊急車両などへの給油を優先</b>するような動きになるかもしれない</li> </ul>		
	伝統工芸	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>業務用漆器の制作に必要なシンナー（塗装用、洗浄用）やABS樹脂が手に入らない</b></li> </ul>	同上
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>和紙は、水を精製するための石油由来の製剤等の価格が5月～6月にかけて高騰するのではないかと危惧</b>している</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・越前焼の焼成費等の高騰が心配されている</li> </ul>			
小売業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>日用品（ラップ、ゴミ袋等）の出荷制限やシンナー類・塩ビパイプ等の品切れ、数量制限の販売を実施</b>している</li> </ul>	同上  (消費減退への懸念に対しては、ふくいはいびコインを活用したデジタル商品券により、消費喚起を図り、事業者を支援)	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後、消費の減退や燃料等価格高騰、さらなる配送や商品入荷への影響等について心配の声あり</li> </ul>		

担当部局	業種	②県内の状況およびその対応状況	
農林 水産部	農業	<p style="text-align: center;">＜県内への影響＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農作業に必要な燃料については購入できている</li> <li>・ <b>燃料価格上昇の長期化による影響を懸念</b></li> <li>・ <b>米や野菜、花き等の生産に使われる農業用資材(ハウス用ビニール・出荷パック等)について一部メーカーの出荷制限や受注停止あり</b> 価格はこれまでの1.3～1.5倍に高騰、今後さらに上がる見込み</li> <li>・ 秋肥は、調達の目途は立っているが肥料価格は上がる見込み</li> <li>・ <b>今作の生産については乗り切れるが、秋以降の作付については影響を懸念</b></li> </ul>	<p style="text-align: center;">＜県の対応状況＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期的に行っている技術対策会議(県、JA)などを通じ、中東情勢の影響について情報を収集し、状況を注視し、国へも情報共有</li> </ul>
	林業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 山林での伐採時に使用する軽油や木材の乾燥に使用する灯油を小売店から購入できている</li> <li>・ チェーンオイルや機械の油圧作動油、尿素水は調達困難な状況であるが、現時点で事業に支障はない</li> <li>・ キノコなどの特用林産物は、<b>生産・出荷用資材の値上げやトレー等の納品が一部制限</b> (作業用ビニール手袋の納品が発注の1/3など)</li> <li>・ <b>燃料価格上昇の長期化による影響を懸念</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現時点の影響は限定的であるが、引き続き、県森連等の関係団体から最新の情報を収集し、状況を注視し、国へも情報共有</li> </ul>

担当部局	業種	②県内の状況およびその対応状況	
農林 水産部	水産業	＜県内への影響＞	＜県の対応状況＞
	公共工事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 船の燃料価格について高騰が継続。供給は当面の必要量を全漁連を通じて確保</li> <li>・ 発泡スチロールが5月に25%値上げ。現時点の供給に問題はないが、ナフサ不足による影響を懸念</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県発注の受注者への聞き取り(5月11日時点)によると、<b>建設資材の高騰および供給不足のおそれ</b>について情報提供がある (<b>舗装材料、塩ビ管、止水板・目地材、暗渠排水資材、燃料など</b>)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 引き続き、県漁連等の関係先から最新の情報を収集し、状況を注視し、国へも情報共有</li> </ul> <p>〈契約済みの工事の対応〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3月31日付けの国(総務省、国土交通省連名)からの要請を受け、各農林総合事務所等あてスライド条項(※)を適切に運用するとともに、受注済みの事業者に対しては、個別に説明・対応するよう通知</li> <li>・ 4月23日に改めてスライド条項(※)の適切な運用および工期の延長について発注機関に通知</li> </ul> <p>〈今後発注する工事の対応〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 設計単価を毎月見直し、最新の単価により発注</li> </ul> <p>※スライド条項: 資材価格の急激な変動に対し、契約金額の変更を請求することができる契約上の条項</p>

担当部局	業種	②県内の状況およびその対応状況	
		<県内への影響>	<県の対応状況>
土木部	公共工事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3月30日に(一社)福井県舗装協会から、5月7日に(一社)日本塗装工業会福井県支部から価格高騰や納期遅延に関する対応等の要請</li> <li>・ 県発注工事の受注者への聞き取り(5月22日時点)によると、<b>建設資材の高騰および供給不足のおそれ</b>について情報提供がある(舗装材料、塗装材、塩ビ管、止水板・目地材など)</li> </ul>	<p>〈契約済みの工事の対応〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3月31日付けの国(総務省、国土交通省連名)からの要請を受け、各土木事務所あてスライド条項(※)を適切に運用するとともに、受注済みの事業者に対しては、個別に説明・対応するよう通知</li> <li>・ 4月23日に改めてスライド条項(※)の適切な運用および工期の延長について発注機関に通知するとともに、福井県建設産業団体連合会あて、県土木部の対応について情報提供</li> </ul> <p>※スライド条項:資材価格の急激な変動に対し、契約金額の変更を請求することができる契約上の条項</p> <p>〈今後発注する工事の対応〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 設計単価を毎月見直し、最新の単価により発注。</li> </ul>
	民間工事	<p>(一社)福井県建築組合連合会、工務店、建築資材の販売業者から聞き取り(5月22日時点)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>建築資材の高騰、納期の遅延、受注停止が発生</b>(シンナー、断熱材、塗料等)</li> <li>・ 現在工事中の物件は資材調達の目途が概ね立っており影響は少ない</li> <li>・ <b>今後、工事契約の先送りや受注停止が増加する可能性あり</b>(すでに一部工務店でリフォーム工事契約先送りの事例あり)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4月13日付けの国土交通省通知を踏まえ、代替材料への変更が行われているものやシステムキッチン等一部の設備が未設置のものについても完了検査を行うなど、検査手続について柔軟に対応するよう各土木事務所へ通知</li> </ul> <p>(検査済証がないと建物が使用できず、ローン融資も実行されないなど、手続きの遅れが建築主にデメリットとなることがあるため)</p>

担当部局	業種	②県内の状況およびその対応状況	
教育庁	教育機関 (県立学校、 社会教育施設)	＜県内への影響＞	＜県の対応状況＞
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実験教材（薬品、油絵具等）、実習用具（各種部品）、部活動用品などが調達困難、納期遅延、価格高騰することにより、日頃の教育活動に支障が生じることを懸念</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生徒の学習環境に影響を与えない範囲で教材や消耗品の使用量見直しや必要物品の前倒し発注による値上げ前の物品確保などで対応</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>修学旅行、海外研修、遠足、部活動遠征などに伴うバス借上料、航空運賃（燃油サーチャージ）の価格が高騰</b>しており、計画見直しや生徒・保護者の負担増を懸念</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 旅行内容の見直し（泊数減、遠足回数など）、交通手段の見直し、負担金の追加徴収も含めて検討</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 燃油サーチャージ料の値上げによる<b>A L T帰国旅費費用の増加や海外留学費用の増加などの影響</b>あり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後対応を検討</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>学校施設の整備にかかる資材等の納期遅延、購入数量制限、欠品、入札不調などの影響</b>あり。</li> </ul>	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生徒のタブレット端末の更新について、半導体材料の供給が不安定になり、従来からの半導体不足に拍車をかけ、納品・サービス提供の条件（価格・納期）が厳しくなっている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 早期に業者との契約・発注を行うことで納品日数に余裕を持つなどの対応をしている</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>空調・照明・ICT機器、スクールバス運行等に要する光熱費（電気・ガス・燃料費）の上昇</b></li> </ul>		
	学校給食	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資材高騰や入手困難により市販事業が停止した場合、給食業務への影響は避けられないことを懸念</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国、事業者等の動向を注視</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校給食会で取り扱う<b>衛生管理消耗品（ニトリル手袋・エンボス手袋・スポンジ・たわし類）は、メーカーの出荷制限や価格改定の影響により、5月から取扱い休止中</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 6月からは、価格改定（値上げ）し、取扱いを再開する予定。ただし、メーカーによる出荷先・出荷数の制限が継続しているため、納期は通常（3日～1週間）より長く、2週間程度を要する見込み</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>パン業者の袋や炊飯業者のトレイ・ラップ等について、値上げが見込まれる</b>との情報あり。市町等への請求額への影響も懸念材料</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 業者に情報提供を依頼</li> </ul>	